

政 策 7

～市立病院として高度で良質な医療を提供します～

後期基本計画における「めざそう値」等一覧

【めざしたい将来像】

松戸市立病院は、東葛北部地域の中核病院として高度で良質な医療を提供するとともに、地域の病院・診療所・福祉施設、福祉サービス、NPO・ボランティア及び行政と連携、協力し合い、患者さんのより早い社会復帰・在宅復帰を実現します。

指 標		21年度	22年度	25年度	27年度 現状値	28年度 (注1)	32年度 (注2)
患者満足度	めざそう値 (目標)	—	—	60%台	—	70%台	60%台 (※)
	実績値	58.2%	53.2%	58.7%	78.4%		
平均在院日数	めざそう値 (目標)	—	—	13.0日	—	12.0日	11.5日
	実績値	13.7日	12.9日	12.0日	13.1日		

指 標		21年度	22年度	25年度	27年度 現状値	28年度 (注1)	32年度 (注2)
紹介・逆紹介率	めざそう値 (目標)	—	紹介59.5% 逆紹介90.3%	紹介60% 逆紹介30%	—	紹介 60%以上 逆紹介 60%以上	紹介 60% 逆紹介 30% (※)
	実績値	紹介47.7% 逆紹介30.3%	紹介48.3% 逆紹介33.0%	紹介59.5% 逆紹介90.3%	紹介58.2% 逆紹介104.2%		
一般病床利用率	めざそう値 (目標)	—	89.0%	90%	—	90%	90%
	実績値	80.7%	82.1%	71.0%	74.3%		
年間手術件数	めざそう値 (目標)	—	—	4,550件	—	4550件	4550件
	実績値	4,319件	4,035件	3,808件	3,938件		
経常収支比率	めざそう値 (目標)	—	—	100%	—	100%	100%
	実績値	100.5%	100.1%	98.5%	98.1%		

(注1)平成28年度のめざそう値は、第5次実施計画でめざす目標値です。めざそう値(28年度)設定の考え方は、第5次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説によります。

(注2)平成32年度のめざそう値は、後期基本計画書に記載しているめざそう値を記入しております。その中で“(※)”の表記のあるものについては、第6次実施計画策定時に平成27年度の現状値などを踏まえ見直します。

政策7

市立病院として高度で良質な医療を提供します

1. 地域の中核的な病院としての機能を充実します

1. 現況と課題

急性期対応型の国保松戸市立病院は、昭和25年の開設以来、救命救急センター・第二種感染症指定医療機関・災害拠点病院・地域がん診療連携拠点病院として指定を受けるほか、小児科・小児外科・小児心臓血管外科・新生児科からなる小児医療センターを設立し小児医療に力を傾注する等、東葛北部地域の中核的な病院として高度で良質な医療提供に努めてきました。また、慢性期対応型の松戸市立福祉医療センター東松戸病院・介護老人保健施設梨香苑は、今後の高齢化社会に備えた「保健・医療・福祉」の連携した包括的医療の拠点として、平成5年に開設され、「在宅ケア支援機能」と「地域医療における補完機能」の二つの機能を持っています。

しかしながら、施設や設備の老朽化・狭隘化・耐震性の問題、医師・看護師不足等の人員体制の問題、こうした問題も含め目まぐるしく変化する医療環境から、これまでどおり安定した経営のもとで良質な医療を継続して提供して行くことが難しくなっています。

【特筆すべきニーズの変化】

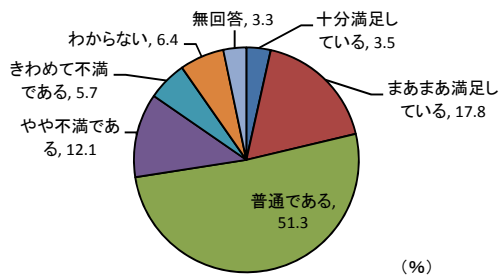
- ・救命救急や小児・周産期医療の提供が求められています（ニーズの増）

●各施設の概要(H27.4)

	開設	診療科目	病床数	特色
市立病院	昭和25年 11月25日	内科・血液内科・消化器内科・循環器内科・神経内科・外科・整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・呼吸器外科・形成外科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・泌尿器科・リハビリテーション科・放射線科・皮膚科・麻酔科・精神科・総合診療科・緩和ケア科・病理診断科・救命救急センター・小児医療センター（小児科・小児外科・新生児科・小児心臓血管外科・小児脳神経外科）	総数613床（一般病床605床、感染症病床8床）	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床研修指定病院 ○臨床修練指定病院 ○地域医療研修センター ○各学会認定研修病院 ○災害拠点病院 ○臓器提供施設 ○地域がん診療連携拠点病院 ○第二種感染指定医療機関 ○日本医療機能評価機構認定病院 ○地域医療支援病院
東松戸病院	平成5年 10月1日	内科・呼吸器内科・神経内科・精神科・外科・整形外科・リハビリテーション科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・婦人科・<総合診療科>	総病床数198床（実稼働数178床）	
梨香苑				定員 入所50人 通所10人

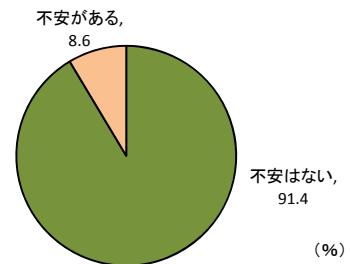
出典：各施設のホームページ

●保健・医療・福祉サービス

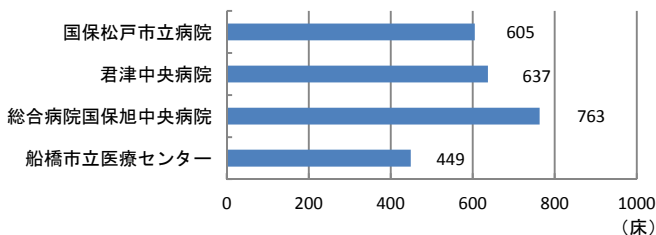


出典：松戸市総合計画後期基本計画進行管理のための市民意識調査 結果報告書(26年9月)

●出産・子育て

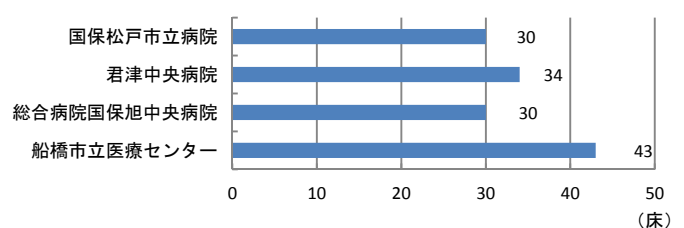


●一般病床数



出典：地方公営企業年鑑(25年度)

●救命救急センター病床数



出典：地方公営企業年鑑(25年度)

2. 施策の展開方向

国保松戸市立病院は、施設の老朽化や狭隘により最新の医療の提供や快適性、利便性に問題が生じている上、耐震性にも劣るため、将来にわたり安定して医療を提供ができる新病院を建設します。また、開院にあたっては、現在の市立病院が地域の中で担っている救急、小児・周産期にかかわる医療の拠点病院としての基盤をさらに充実します。

3. 施策を推進していく上での課題

国保松戸市立病院は、地域全体で支える医療体制「地域循環型医療連携」を目指しています。当院は強みを活かし、東葛北部地域の中核病院として高度で良質な医療を提供し続けるよう、施設の老朽化や狭隘を解消するため、新病院を建設します。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

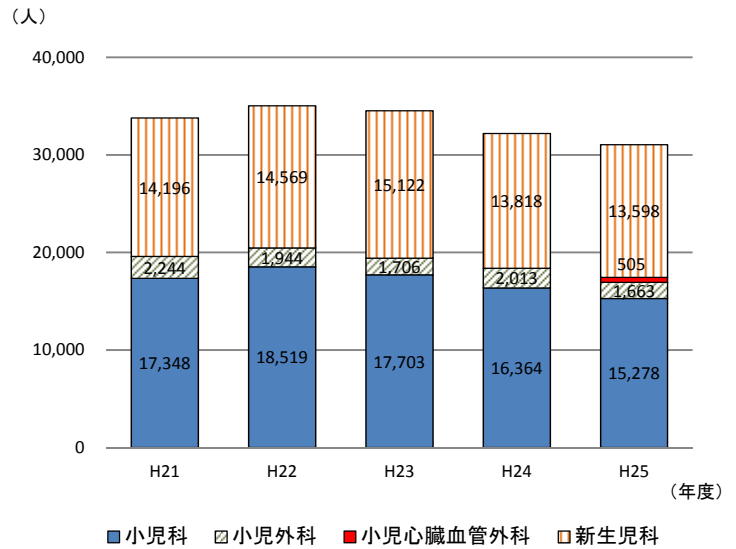
- ① 第3次救急救命センターの指定を受け、東葛地区の拠点病院となっています（強み）
- ② 小児医療センターが設置され、スタッフ・施設・設備が充実しています（強み）

●小児医療センター(特色)

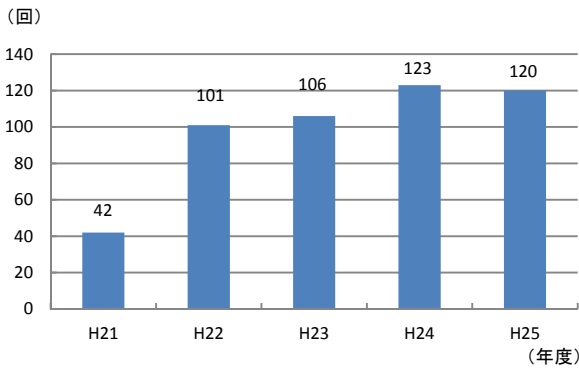
小児用無菌病床2床
院内学校「ひまらや学級」
新生児緊急収容車所有
N I C U (新生児集中治療室) 12床



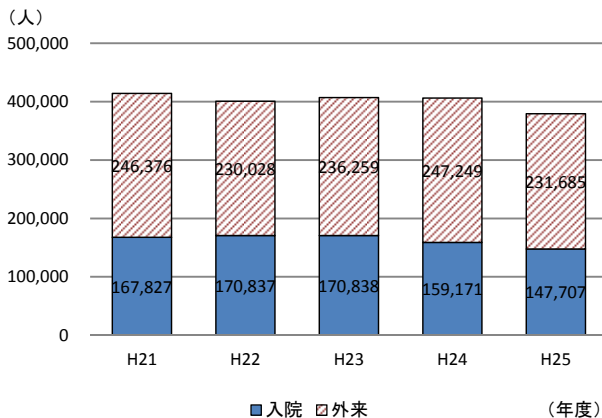
●小児医療センター入院患者数



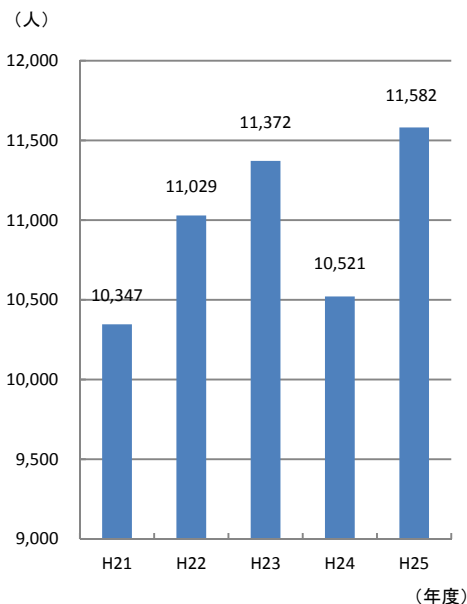
●新生児緊急収容車出動数



●市立病院年間延患者数



●救急患者受入状況



出典: 病院事業概要

政策7

市立病院として高度で良質な医療を提供する

2.患者主体の医療を推進します

1. 現況と課題(再掲)

急性期対応型の国保松戸市立病院は、昭和25年の開設以来、救命救急センター・第二種感染症指定医療機関・災害拠点病院・地域がん診療連携拠点病院として指定を受けるほか、小児科・小児外科・小児心臓血管外科・新生児科からなる小児医療センターを設立し小児医療に力を傾注する等、東葛北部地域の中核的な病院として高度で良質な医療提供に努めてきました。

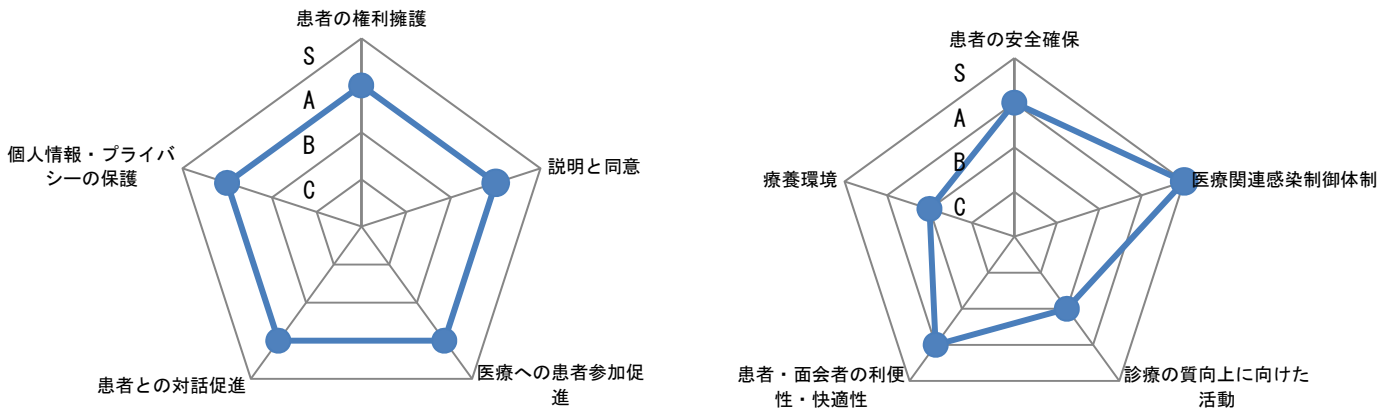
また、慢性期対応型の松戸市立福祉医療センター東松戸病院・介護老人保健施設梨香苑は、今後の高齢化社会に備えた「保健・医療・福祉」の連携した包括的医療の拠点として、平成5年に開設され、「在宅ケア支援機能」と「地域医療における補完機能」の二つの機能を持っています。しかしながら、施設や設備の老朽化・狭隘化・耐震性の問題、医師・看護師不足等の人員体制の問題、こうした問題も含め目まぐるしく変化する医療環境から、これまでどおり安定した経営のもとで良質な医療を継続して提供して行くことが難しくなっています。

【特筆すべきニーズの変化】

- ・施設・設備の充実など、安心して医療を受けられる環境が望まれています（ニーズの増）

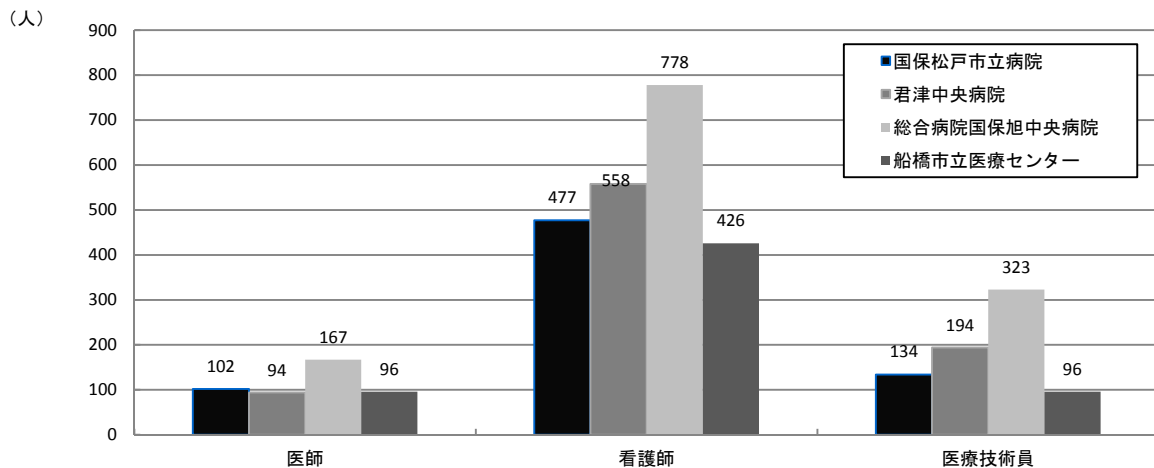
●病院機能評価結果(平成25年実施)

患者中心の医療の推進



出典：(公財)日本医療機能評価機構

●職員数比較



出典：地方公営企業年鑑(25年度)

2. 施策の展開方向

患者のために良質かつ安心、安全な急性期医療を提供し、すべての人から「ここに来てよかった」と思われる病院をめざします。また、そのために必要な医療機器、医療体制を改善することはもとより、プライバシーやバリアフリーにも十分に配慮した療養環境を整備し、患者さんに快適な環境でさらに質の高い医療を提供します。

3. 施策を推進していく上での課題

医師・看護師不足等の問題は、当院だけではなく全国的な問題ではありますが、良質かつ安心、安全な医療を提供し続けるためには、必要な人材を確保することが必要になっています。また、強みを活かして他の医療機関からの紹介を増やしていきます。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ・設備の充実に積極的に取り組んでいます（強み）

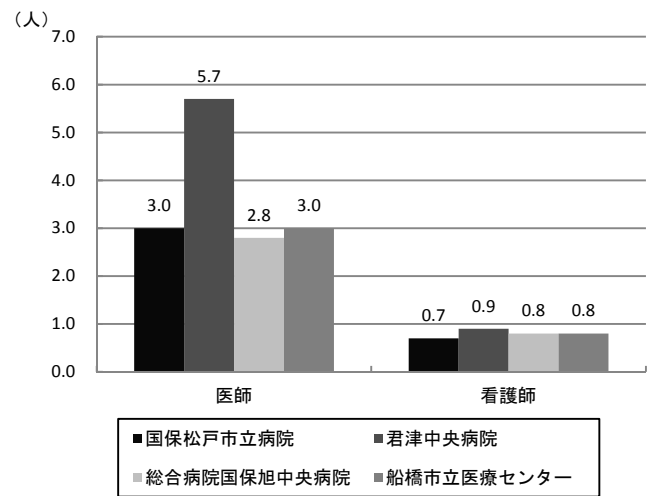
●医療機器の導入

80chマルチスライスCT



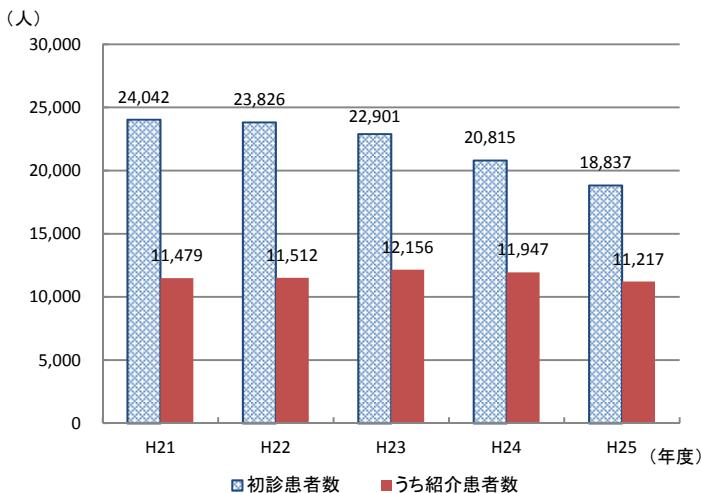
従来のCT装置に比べて、短時間で高画質、低被ばくな検査が可能です。

●1人当たり入院患者数



出典：地方公営企業年鑑(25年度)

●他医療機関からの紹介件数(市立病院)



出典：病院事業概要

●地域がん診療連携拠点病院(市立病院)



●ソーシャルワーカー新規・再開介入件数

平成24年度	1,771件
平成25年度	2,436件

※「再開」とは一度終了したケースに再度介入した場合を指す。

出典：病院事業概要

政策7

市立病院として高度で良質な医療を提供する

3.病院経営基盤の充実を図ります

1. 現況と課題(再掲)

急性期対応型の国保松戸市立病院は、昭和25年の開設以来、救命救急センター・第二種感染症指定医療機関・災害拠点病院・地域がん診療連携拠点病院として指定を受けるほか、小児科・小児外科・小児心臓血管外科・新生児科からなる小児医療センターを設立し小児医療に力を傾注する等、東葛北部地域の中核的な病院として高度で良質な医療提供に努めてきました。また、慢性期対応型の松戸市立福祉医療センター東松戸病院・介護老人保健施設梨香苑は、今後の高齢化社会に備えた「保健・医療・福祉」の連携した包括的医療の拠点として、平成5年に開設され、「在宅ケア支援機能」と「地域医療における補完機能」の二つの機能を持っています。

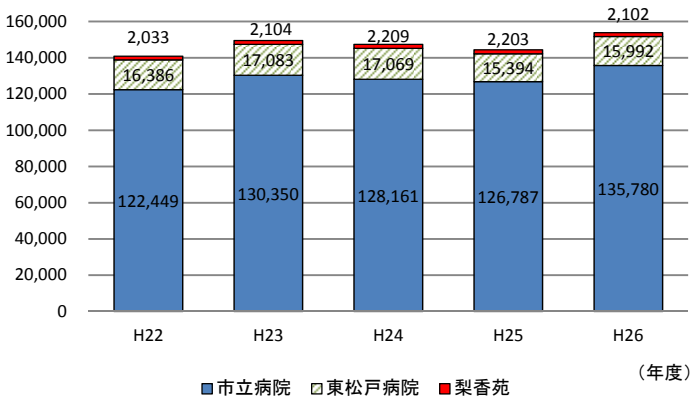
しかしながら、施設や設備の老朽化・狭隘化・耐震性の問題、医師・看護師不足等の人員体制の問題、こうした問題も含め目まぐるしく変化する医療環境から、これまでどおり安定した経営のもとで良質な医療を継続して提供して行くことが難しくなっています。

【特筆すべきニーズの変化】

- ① 一般財源から病院会計への繰出金が市の財政負担となっており、経営改善による病院事業の自立が望まれています (ニーズの増)
- ② 地域医療との連携や役割分担など、公立病院としての機能を再検討することが望まれています (ニーズの増)

● 医業(施設事業)収益

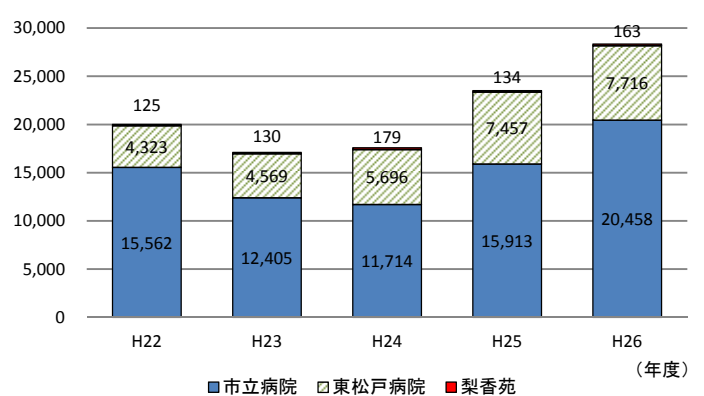
(十万円)



出典: 決算資料

● 医業(施設事業)外収益 (一般会計からの繰出金を含む)

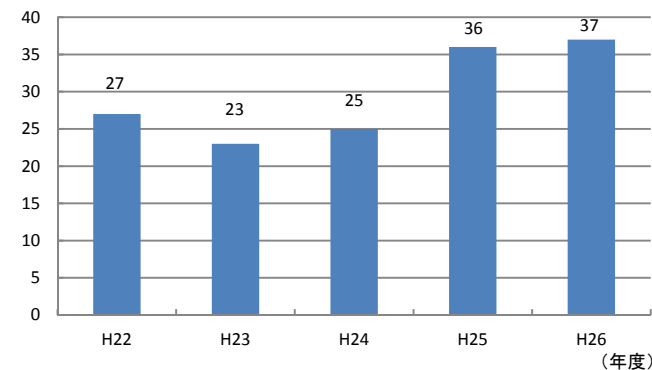
(十万円)



出典: 決算資料

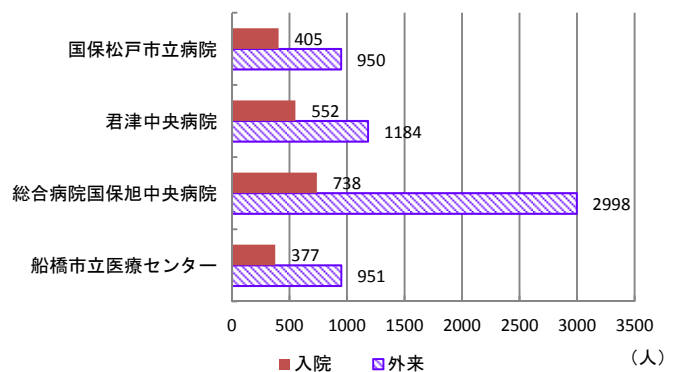
● 一般会計からの繰出金(病院事業)

(億円)



出典: 決算資料

● 1日平均患者数



出典: 地方公営企業年鑑(25年度)

2. 施策の展開方向

平成21年3月に「経営の効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」の視点から策定した「松戸市立病院改革プラン」及び「松戸市立福祉医療センター東松戸病院改革プラン」に基づき、経営改善を推進します。

なお、経営改善の進捗状況については、継続的に検証を行い必要な改善に取り組みます。

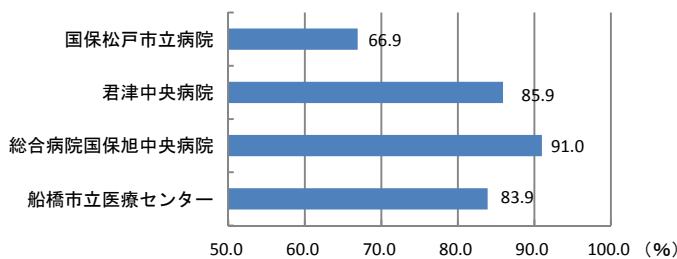
3. 施策を推進していく上での課題

自治体病院のため効率の低い政策医療を提供しているため、収支を悪化させやすい業務もありますが、両病院の求められる役割を果たしつつ、継続して経営改善に取り組むことが必要になっています。そのためには経営基盤の強化が必要になっています。

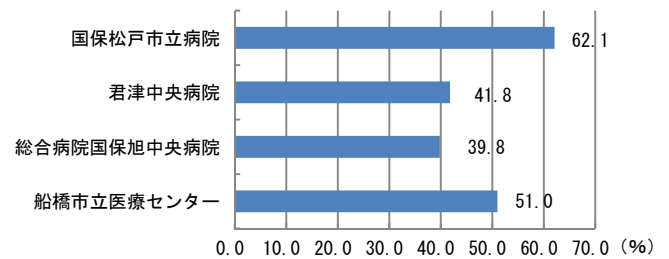
【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 採算性の低い政策医療を提供しているため、収支を悪化させやすい部門を抱えています（弱み）
- ② 他の同規模の自治体病院と比較して、病床利用率が低く職員給与比率が高くなっています（弱み）

●一般病床利用率

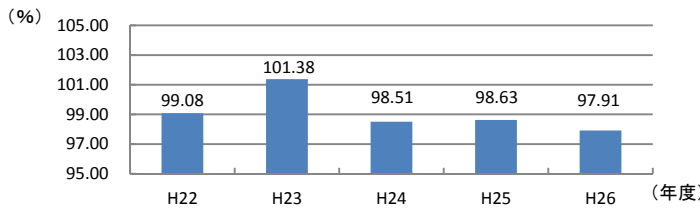


●医療収益に対する職員給与費比率

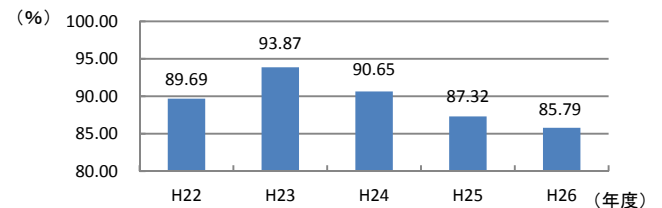


出典：地方公営企業年鑑(25年度)

●経常収支比率(病院事業)

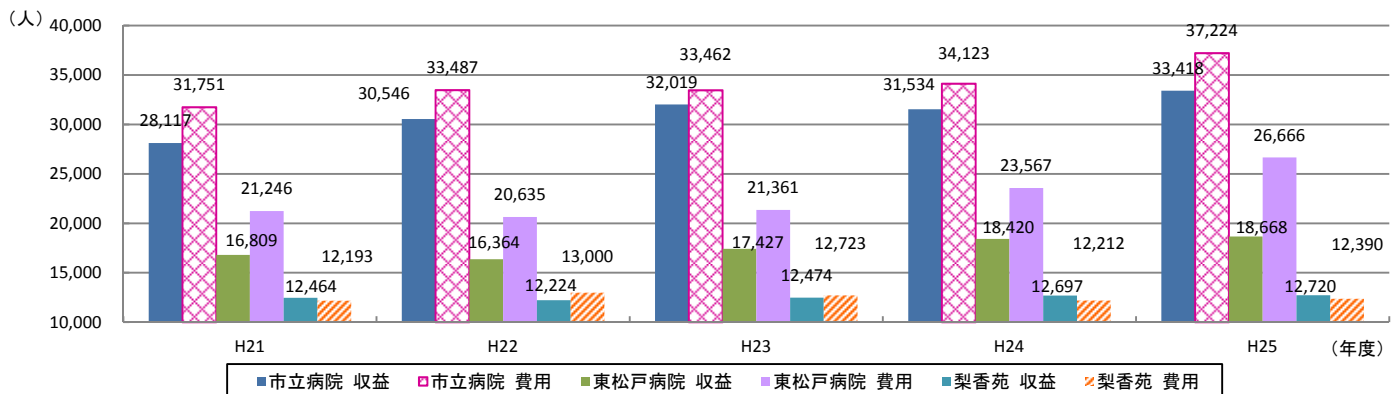


●医療収支比率(病院事業)



出典：決算資料

●患者(利用者)1人1日当たり収益・費用



出典：病院事業概要

●主な経営指標にかかる状況

	経常収支比率	医療収支比率	職員給与費対医療収益比率	材料費対医療収益比率	うち薬品費対医療収益比率	一般病床利用率
全国平均	99.4%	91.9%	53.2%	23.6%	12.1%	74.6%
一般病院の500床以上平均	101.4%	95.9%	48.4%	26.4%	13.4%	81.9%
市立病院	98.5%	91.9%	62.1%	23.8%	11.0%	66.9%

出典：地方公営企業年鑑(25年度)、病院経営分析比較表(25年度)

